

# 人事委員会 公務五者交渉

## 賃金改善と実効性のある働き方改革を！

### 労働基準監督機関として強く働きかけを

◆ 2018年度、県の勧告は5年連続で給与がプラス改定となりました。また、通勤手当の特別料金加算についても条件付きではありませんが全額支給が示されました。これらは、長年にわたって要求してきた課題であり、私たちの切実な声を一定受け止

- ◆ 長時間過密労働の解消。
- ◆ 人事委員会として労働基準監督権限を有していることを受け止め、その機能強化・実効性を確保すること。
- ◆ 教育現場に1年単位の変形労働時間制の導入をしないこと。
- ◆ 雇用と年金の確実な接続のため、定年年齢を段階的に65歳まで引き上げること。
- ◆ 65歳以上の賃金水準を引き上げることを要すること。
- ◆ 長期間の不妊治療が可能となる休暇制度を新設すること。
- ◆ 学校現場においても夏期休業中の学校閉庁は勤務を要しない日とすること。

#### 主な要求内容

5月8日、公務五者（香川県教職員組合・香川県高等学校教職員組合・日教組香川教職員組合・自治労香川県本部・香川県職員連合組合）は、2019年度人事委員会勧告へ向けて、各職場の現状とともに給与・勤務環境・待遇などについて人事委員会へ要求書を提出しました。

◆ 管理職による労働時間の適正管理を徹底し、サービスクロスの撲滅はもちろん、慢性的な長時間労働職場を解消させること。

◆ 学校現場の超勤・多忙化解消に向けて「労働法制の遵守」とともに、「定数改善」「業務改善」を柱として実態を精緻に把握した上で、実効性のある対策として言及するこ

めた内容となりました。しかし、給与制度の総合的見直しにともない地域手当は2%とされていいますが、賃金水準を低下させない措置とはなっていません。

2019年度の勧告は、さらに前進させるように求めました。

#### 実効性を確保した上での労働時間の適正管理

◆ 人員削減や業務量の増加等にもない、時間外勤務時間や病休者が増加している実態および非正規職員の配置が常態化している実態等を踏まえ、適正な職員数の規模について任命権者に検証を行わせること。

◆ 検証結果を反映した適正な職員数となるよう人員増についても言及すること。

◆ 「超過勤務の縮減と年次休暇の使用促進」の報告について実行されるよう、必要に応じて指導等を行うこと。

◆ 厚生労働省「労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置に関するガイドライン」に沿い以下について要求しました。

◆ 「業務改善」を柱として実態を精緻に把握した上で、実効性のある対策として言及するこ

#### 中高年齢層の賃金の底上げを

現在、給与構造改革により、多くの職員が55歳で、ほぼ昇給

◆ 長期間の不妊治療が可能となる休暇制度を新設すること。

◆ 学校現場においても夏期休業中の学校閉庁日は勤務を要しない日とすること

◆ 人員削減や業務量の増加等にもない、時間外勤務時間や病休者が増加している実態および非正規職員の配置が常態化している実態等を踏まえ、適正な職員数の規模について任命権者に検証を行わせること。

◆ 検証結果を反映した適正な職員数となるよう人員増についても言及すること。

◆ 「超過勤務の縮減と年次休暇の使用促進」の報告について実行されるよう、必要に応じて指導等を行うこと。

#### 休暇制度について

◆ 長期間の不妊治療が可能となる休暇制度を新設すること。

◆ 学校現場においても夏期休業中の学校閉庁日は勤務を要しない日とすること



5月1日（水）高松中央公園で第90回香川県メーデーが開催されました。

メーデーは、歴史的に労働者が自らの労働条件と権利を守るために立ち上がった伝統を引き継ぎ、日本でも『労働者の祭典』として取り組まれていきます。「8時間働いて普通暮らしを暮らせる賃金・働くルールの確立を」「めざせ最賃1500円、全国一律最賃制の実現を」「核兵器禁止条約の批准を」各組織が訴え、デモ行進をしました。

#### 第90回 香川メーデー

◆ 「産休や病休の代替の先生が来ない」「美術の授業がずっと自習」4月に入り、こんな異常事態が県内各地で起こり、高松市では深刻化しています。この問題は「教員未配置」問題といわれています。県教委によると2019年4月12日現在の教員の欠員状況は小学校で13名、中学校で6名、計19名にのぼり、高松市内小学校では9名の欠員です。4月の段階で欠員が出るのは初めてのことだそうです。

◆ 4月に「教員未配置」問題が起こることは深刻です。全国でも同様の問題が起こっています。他県では、4月に報告された件数を1学期に若干減しても、2学期後半から年度末にかけて増加傾向にあ

◆ 人員削減や業務量の増加等にもない、時間外勤務時間や病休者が増加している実態および非正規職員の配置が常態化している実態等を踏まえ、適正な職員数の規模について任命権者に検証を行わせること。

◆ 検証結果を反映した適正な職員数となるよう人員増についても言及すること。

◆ 「超過勤務の縮減と年次休暇の使用促進」の報告について実行されるよう、必要に応じて指導等を行うこと。

#### 教室に先生がいらない？！

「産休や病休の代替の先生が来ない」「美術の授業がずっと自習」4月に入り、こんな異常事態が県内各地で起こり、高松市では深刻化しています。この問題は「教員未配置」問題といわれています。県教委によると2019年4月12日現在の教員の欠員状況は小学校で13名、中学校で6名、計19名にのぼり、高松市内小学校では9名の欠員です。4月の段階で欠員が出るのは初めてのことだそうです。

◆ 4月に「教員未配置」問題が起こることは深刻です。全国でも同様の問題が起こっています。他県では、4月に報告された件数を1学期に若干減しても、2学期後半から年度末にかけて増加傾向にあ

「産休や病休の代替の先生が来ない」「美術の授業がずっと自習」4月に入り、こんな異常事態が県内各地で起こり、高松市では深刻化しています。この問題は「教員未配置」問題といわれています。県教委によると2019年4月12日現在の教員の欠員状況は小学校で13名、中学校で6名、計19名にのぼり、高松市内小学校では9名の欠員です。4月の段階で欠員が出るのは初めてのことだそうです。

◆ 4月に「教員未配置」問題が起こることは深刻です。全国でも同様の問題が起こっています。他県では、4月に報告された件数を1学期に若干減しても、2学期後半から年度末にかけて増加傾向にあ

**香川教育**

発行所  
高松市田村町1033-3  
TEL (087) 867-4797  
FAX (087) 867-6446  
kakyoso@kakyoso.com  
香川県教職員組合  
定価 1部50円 1月100円  
組合員の購読料は組合費に含む

香教組ホームページ  
<http://kakyoso.com/>

第2回  
**パワーアップ学習会**  
6月16日(日)10:00~  
(受付9:30)  
会場  
サンメッセ香川  
2F 中会議室

## 東日本大震災被災地 福島に学ぶ

青年部・女性部合同企画平和の旅参加報告

# 被災時に大切なこと それは・・・自律的な判断ができること

第5回 青年部平和の旅が、3月23日～25日2泊3日で東日本大震災被災地 福島で行われました。これまで、広島、沖縄（2回）、長崎と学んできました。沖縄の基地問題に触れ、「歴史に学ぶとともに今をみつめ、未来についてさらに考えたい」との青年組合員の思いが実現しました。

1日目は、福島県高教組のみなさんから、教員としての被災について学びました。



福島県高教組のみなさんから被災時の様子について学んでいる参加者

「福島県は、地震・津波・原発と3回被災しました。ちよ

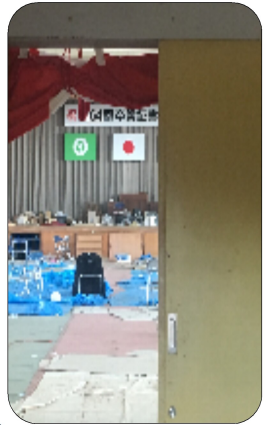
うど下校時だったので、安否確認が大変でした。特別支援学校の生徒の中には、親切な方に一晚泊してもらった子もいます」「地震発生時、部活動中に被災した生徒は、顧問が『動くな』と指示したため、体育館が倒壊の恐れがあったにもかかわらず、その場に居ました。顧問の指導が行き届いていた例ですが、果たしてそれが正しい行動と言えるのでしょうか」「運動場に避難したが、とても寒かったのです。先生は、倒壊の危険も予想される中、校舎に入り生徒のコートを手から外に次々と出しました。後で、生徒は『あの時のことは忘れない』と作文に書いています」「当時は、とにかく、情報が交錯し多くの疑問や矛盾が生まれました。私たちが出した結論は、『命より大切なものはない』ということです」

「なにより大切なことは、自律的に判断できることです。それには、日頃から自由なものが言える雰囲気が必要だと思います」と福島県高教組のみなさんは熱く語ってくれました。参加者は、自分がその場にいたらどうだっただろうと思いつきながら話を聞きました。

2日目は、現地ボランティアガイドさんの案内で、原発の被災地を見学しました。道一本で帰還困難区域と帰還制限区域に分けられています。放射能は目に見えません。「この道一本の違いは何なんだろう」と、参加者はその場に立ち、矛盾や疑問を次々に出しました。行ってみなければわからない、空気感のようなものを感じていました。

請戸中学校は卒業式の準備中に震災に合い、体育館が避難所になりました。その後、原発事故が発生。緊急に全村避難命令が出ました。その慌てた様子がそのまま残っていました。

請戸小学校は、震災直後1時間かけて、高台に歩いて避難。児童全員が助かりました。校舎は津波に沈んでしまい、現在は震災遺構としてその姿を残しています。校庭には、避難塔があり、日頃から津波を想定し、現実的な避難訓練をしていたそうです。「私たちの避難訓練が訓練のための訓練になっていないか」と参加者はみな問い直しました。



当時のままの体育館



除染土を入れたフレコンパックの山

南相馬市に入ると、至る所に除染土を入れたフレコンパックが山積みされていました。今、少しずつ中間貯蔵地へ運ばれているそうです。

そこに30年置くそうです。「30年後、本当に最終処分地へ移されるのだろうか」と呟いた参加者もいました。

3日目は、福島県の文化や自然について学びました。隣の愛媛県には伊方原発があります。決して他人ごとではありません。「便利」と「安全」「危機管理」と「日常」についてあらためて考えた3日間でした。



ガイドさんの話を熱心に聞く参加者

現在、ツアーの記録集を製作中です。ご希望の方は、香教組本部（087-867-4797）までご連絡ください。（組合員は無料。その他の方は、郵送料をご負担いただきます。）

## 採用選考試験勉強会

みんなでレベルUP!

- 高松会場 5/28 6/11 6/25 7/9 (毎月第2・4火曜日)
- 三豊会場 5/21 6/4 6/18 7/2 (毎月第1・3火曜日)
- 丸亀会場 5/15 6/5 6/19 7/3 (毎月第1・3水曜日)
- 大川会場 5/21 6/4 6/18 7/2 (毎月第1・3火曜日)

いずれも19:00～21:00 資料代100円

※どなたでも参加できます。

詳細は、香教組HPをご覧ください。

## 第2回パワーアップ学習会のご案内

2020年度教員採用選考試験に向けて対策講座を開催します。1人ではできない「集団面接」の練習もします。ぜひ、お誘いあわせの上ご参加ください。

- 1 日時 6月16日(日)10:00～12:00
- 2 場所 サンメッセ香川 2階中会議室
- 3 参加費 300円(資料代)

どなたでも参加できます。直接会場にお越しください。